

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		自治公民館建設等助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	甲斐朝子
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備			所属班	生涯学習班	(内線)	1052
法令根拠		合志市地区公民館建設用地の貸付け等に関する要綱、合志市地区公民館(地域学習センター)建設費補助金交付要綱、合志市地区公民館用地取得費及びその所有権移転登録							
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	11
	1	10	5	3	10834			コスト削減優先度評価結果	6*4
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 自治公民館施設の建設、改修に対し、助成を行う。新規の建設には500万円を上限として、改修には50万円を上限として、それぞれ対象経費の3分の1を助成する。また備品購入には20万円を上限として購入費の5分の4を助成する。また、公民館建設用地の貸付を行う。									
【業務の流れ】 各自治公民館からの補助金交付申請書を受理する。申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して各公民館長等からの請求書を受け、補助金を交付する。									
【主な予算費目】負担金補助及び交付金									

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・地区公民館建設費補助金(8公民館:計733,500円を交付) ・地区公民館備品購入補助金(15公民館:計1,960,100円を交付) ・地区公民館建設用地貸付地区(2地区)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・地区公民館建設費補助金(7公民館に交付予定) ・地区公民館備品購入補助金(8公民館に交付予定) ・地区公民館建設用地貸付地区(2地区)
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市の自治公民館	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 公民館の改修や備品購入を行う公民館の数 地区 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自治公民館の設置、改修、備品の購入により公民館施設を改善する。	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 合志市の自治公民館 地区 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域公民館活動に参加する市民が増える。	⑦ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 設備が整う自治公民館の割合 % → イ
	⑧ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 学習に親しむ設備が整っていると思う市民の割合 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	3,778	11,058	2,967	2,694	2,189	3,000	3,000	
	(A) 事業費計	千円	3,778	11,058	2,967	2,694	2,189	3,000	3,000	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50		
	(B)人件費計	千円	199	199	199	199	199	199		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,977	11,257	3,166	2,893	2,388	3,199	3,199	
活動指標	ア 地区		19	33	25	25	17	20	20	
	イ 地区									
対象指標	ア 地区		77	78	78	78	78	78	78	
	イ 地区									
成果指標	ア %		25	42	32	32	22	26	26	
	イ %									
上位成果指標	ア %		74	74	74	74	74	75	75	
	イ %									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
地区公民館建設費補助金については、旧合志町で平成元年度から開始、地区公民館備品購入費補助金については、旧合志町で平成3年度から開始している。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
自治公民館のハード面整備は、この助成金制度により旧合志町地域では相当整備が進んでいる。旧西合志町では、改修や備品購入の助成はなかったため、ほとんど地区の自前で経費をまかっていた。
合併後全市の地区公民館に旧合志町の助成制度が適用されることになったため、旧西合志地域の地区公民館からの申請が相次ぎ、助成総額が高騰する結果となった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
補正での対応ができないため、機器の故障など、緊急時に対応できないことに対する批判がある。また財政が厳しい中、要望について一律10%カットで助成を行っていることへの批判もある。

事務事業名	自治公民館建設等助成事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事業によって、地域公民館施設が整備され、地域の生涯学習活動の振興につながるため、政策と結びつくから。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 旧町間に相当の格差があったため、合併時に旧合志町の制度に合わせたが、逆に言えば旧西合志町の制度でも従来やってきた事でもあり、地域公民館に対する公的助成のレベルは議論されるべきであるから。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 事業の対象は地域の公民館であり、市が意図する地域の振興にかなうので適切であるから。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 地域公民館の数は78館あり、それぞれの施設での状況は異なるが、経年とともに改修や整備の予定は尽きることはなく、一方で成果が上がっても片方では改修の必要が常に待っているため、事業は限りない繰り返しとなるから。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 それぞれの地域公民館は、すべて地域独自の費用負担で整備改修を行わなくてはならないので、費用負担能力の多寡によって施設設備等の格差が広がって、地域での生涯学習活動にも格差を生じるから。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地域公民館＝地域ととらえ、バラバラに交付している各種の助成金を整理統合すべきであるから。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、建設費補助金の助成率が経費の3分の1、用地取得及び備品購入が経費の5分の4となっているが、地元負担と公費負担の割合を見直せば、事業費は削減可能であるから。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しいから。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 現在、建設費補助金の助成率が経費の3分の1、用地取得及び備品購入が経費の5分の4となっているが、地元負担と公費負担の割合を見直せば、事業費は削減可能であるから。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、地域公民館の数は78館あり、経年とともに改修や整備の予定は尽きることはなく、一方で成果が上がっても片方では改修の必要が常に待っているため、事業は限りない繰り返しとなる。 ③④効率・公平性については、建設費補助金の助成率が経費の3分の1、用地取得及び備品購入が経費の5分の4となっているが、地元負担と公費負担の割合を見直せば、事業費は削減可能である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
①地域公民館=区とみなし、同一地域に各課がばらばらに交付している助成金を整理統合する。 ②助成率の見直し、助成上限額の見直しなどで公費の負担割合を減らし、助成総額を圧縮する。 ③助成の総枠を設け、助成要望区の助成予定総額が枠を超えた場合、抽選などで助成対象区を選択する。 などの改善を検討していきたい。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)